

県SSH生徒研究発表会

12月10日(火)、石川県地場産業振興センターにて、令和元年度石川県SSH生徒研究発表会が行われました。これは県内のSSH指定校である小松高校、金沢泉丘高校、七尾高校と、県のNSH(いしかわニュースーパーハイスクール)指定校である金沢二水高校、金沢桜丘高校の5校が合同で課題研究の発表を行うものです。

本校からは、代表として『ダイラタンシー現象による振動とその周期』と『鏡に対するメダカの反応と行動』の2グループが口頭発表しました。校内での発表会とは違った緊張感の中での発表となりました。また、口頭発表の2グループを含めた全てのグループがポスターセッションを行いました。

全体発表の様子



『ダイラタンシー現象による振動とその周期』

『鏡に対するメダカの反応と行動』

ポスターセッションの様子

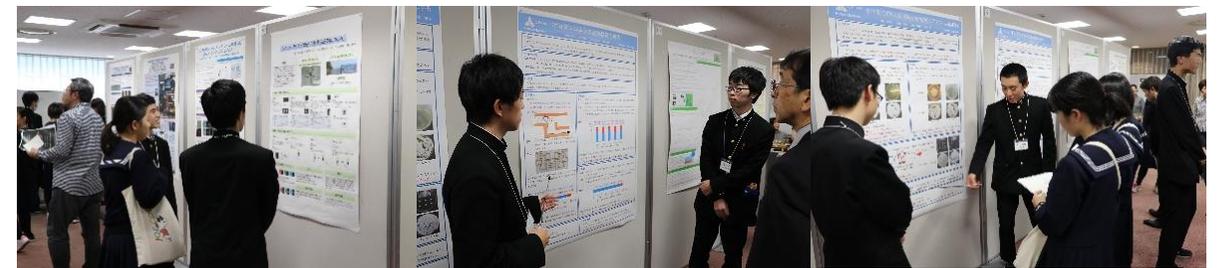


日本動物学会中部支部大会

12月7日(土)、金沢市文化ホールで行われた「日本動物学会中部支部大会」にて、本校SSCの1年生4グループと2年生5グループがポスター発表をおこないました。

大会では、発表の前に公開シンポジウム「能登における海洋生物学の新展開～魚類の発生工学から養殖まで～」で金沢大学の能登での新しい取り組みについて聞きました。

その後のポスターセッションでは、生徒は大学の研究者や大学院生にまじり、堂々と発表していました。それぞれの発表に対し、研究者の方たちからもたくさんの質問があり、発表者は一生懸命答えていました。さらに、今後どのように研究をすすめていけばいいか、その方法や参考になるような他の研究例など、様々なアドバイスをいただくことができました。また、本校の『ウスバカゲロウの巣の形成』、『マガキの殻を原料とする焼成パウダーの殺菌作用について』、『鏡に対するメダカの反応と行動』の3つが大変優秀な研究として表彰されました。



大会委員長賞 (最優秀研究賞)



『ウスバカゲロウの巣の形成』



『マガキの殻を原料とする焼成パウダーの殺菌作用について』



『鏡に対するメダカの反応と行動』